

12月から新しい看護師さんが着任しました!

12月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の栗城あすかさんです。栗城さんは、祖父や父が入院した際に、親身に対応していた看護師さんを見て、自分も目指したいと思い、看護師になったそうです。看護師となった今では、患者さんとのコミュニケーションを大切に、日々の業務に取り組んでいます。小さいときに訪れた只見の雪まつりに思い出があり、今から今年の雪まつりを楽しみにされています。「一生懸命頑張ります!」と話す栗城さんをどうぞよろしくお願いいたします。



栗城 あすかさん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「もし『朝日診療所』が あなたの主治医なら…」

明けましておめでとうございます。私も只見に住み3年近くになりました。実は昨年、家庭医療専門医という資格に合格しました。これは、子供からお年寄りまで、体の病気・けが・心の病気・介護や認知症の相談など、幅広くなんでも相談し対応できる医師を認定する資格です。今後も幅広い健康問題について、町民のために頑張りたいと思います。

ある患者さんのお話です。ある日、高齢の男性が息子さんと一緒に診療所へ相談に来ました。その患者さんは会津若松市内の総合病院に3ヶ月毎に受診しており、最近は歩くのがとても大変になり、車に乗るのもやっとというのです。患者さんや息子さんと相談して、それからは私が定期的に診察しました。前の病院から手紙をもらって薬を変更し、デイサービスの職員など町内で患者さんに関わる人から情報をもらい、まめに様子を見ました。患

者さんは前よりも歩けるようになりましたが、それでも歩くのは大変なため、自宅に毎月訪問をして診察させてもらいました。歩けなくなった、物忘れが進んだ状態から「朝日診療所」が主治医になっても構いませんが、いつでも私たちは対応します。診療所は、遠くの病院よりも地域の色々な人と協力することが得意です。こぶし苑でのリハビリの様子、デイサービスでの様子、一緒に受診しているご家族の具合や心配事も把握します。患者さんが困ったとき、只見の誰がどんなお手伝いをできるか、誰に相談すると良いかを知っています。診療所でできない検査や治療は他の病院にお願いすることもあります。その際も普通の調子や過去の病気のこと、患者さんと家族の希望・心配事をできるだけ代弁して紹介するよう心掛けています。診療所内外の関係者と協力して、皆さんに安心を与えられる「朝日診療所」になるように職員一同、努力したいと思います。本年も町民の「主治医」としてよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.38

渡辺 啓太



「あなたは只見の事を知っていますか？」

只見に移住して1年が経ち、最初は分からなかった方言や町の事情が分かるようになってきました。1年経っても変わらぬ思いは、「やっぱり只見の自然は美しい」ということです。夏の雲ひとつない青空と川面に映る木々の緑や葉が落ち枯れ木となった山の寂寥感などハッと息をのむほど美しいと感じました。

さて、最近私は「只見おもしろ学検定」を受けさせてもらいました。只見おもしろ学検定とは、只見の自然・歴史・文化の3分野から問題が出題され制限時間

内に解き、合格基準を満たせば合格をもらえるという検定です。検定に際して只見町史などで勉強しましたが、只見は知れば知るほど面白い!!昔からある只見の伝統や文化遺産、そして自然の特色など「え!?そうだったの!?!」と思うことが多々ありました。そして、この知らないことが分かるようになる高揚感こそが知への好奇心だと実感しました。ぜひ只見で生まれ育った大人の方たちにも自分が生まれた場所について知ってもらい、「只見っておもしろい!」と再発見してもらえたらと思います。